

財団法人 放送文化基金
平成 22 年度 事業計画
(自平成 22. 4. 1 ～ 至 23. 3. 31)

平成 22 年度は、助成・援助事業、表彰事業をはじめ事業全般にわたり、より一層効率的な運営に努める。

1 研究開発、調査、文化事業への助成・援助

公募により、放送文化の向上に貢献、寄与する放送技術に関する研究開発、および人文・社会科学的な調査・研究や文化的な事業に対し、助成・援助を行う。

予 算 6, 038 万円

2 表 彰

視聴者に感銘を与えた優れた番組と、放送文化および放送技術に関する著しい貢献に対し表彰を行う。

予 算 4, 275 万円

(1) 放送文化基金賞

○ 番組部門

テレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの 4 分野を対象とし、表彰を行う。

番組の表彰 15 本

個別分野賞 5 本

○ 個人・グループ部門

「放送文化」 4 件

「放送技術」 4 件

(2) 他の賞への参加

日本賞（番組企画部門）、ABU 賞

3 支援活動事業

放送に携わる若手制作者の能力増進を支援する施策として、地域における番組制作者の交流を図る「制作者フォーラム」を全国4地区で開催する。また、全国の若手制作者が一堂に会し、話題の放送番組を視聴し、その制作者を交えて番組関係者の意見交換会を図る「若手制作者全国交流セミナー」を開催する。

近年、助成援助したプロジェクトの中から、視聴者の関心が高いもの、時宜を得たテーマであるものなどを中心に「研究報告会」を10月に実施する。

予 算 1, 494万円

4 広 報

広報誌「HBF（放送文化基金報）」を年2回（春・夏）刊行するとともに、ホームページの内容を充実し、情報公開の推進に努める。

予 算 395万円

5 新公益法人移行検討委員会

平成22年12月公益法人移行申請に向け、年1～2回開催する。

予 算 50万円